

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	卒業制作	
科目基礎情報							
開設学科	グラフィックデザイン科		コース名	全		開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	420時間
単位数	14単位		授業形態	実習			
教科書/教材	特になし						
担当教員情報							
担当教員	宮澤孝博、長澤 星、井口 亮、山口卓司			実務経験の有無・職種	有・宮澤(アートディレクター)、長澤(イラストレーター)、井口(グラフィックデザイナー)、山口(ディレクター)		
学習目的							
各自またはゼミのテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作する。翌年には卒業し、実社会でデザイナーとして働いていくことになる。よって、卒業制作は、あくまで社会のニーズにもとづくもの、あるいは社会の問題・課題を改善するものを、調査・考察し、具体的な企画案を提案し、企画にもとづくセールスプロモーションツールやモックを制作し、広く一般に向けてプレゼンテーションすることを目的とする。							
到達目標							
デザイナーとしてキャリアをスタートさせるために必要な、調査力、考察力、企画力、プレゼンテーション力、モノを作るための技術力や表現力、そしてこれら全体を含むプロジェクトを管理(マネージメント)する力を身につけることも目標とする。この中のどれかひとつが長けているのではなく、あくまでバランス感覚に優れたデザイナーになるため、すべての工程において成果を出すよう、取り組むこと。							
教育方法等							
授業概要	これまでの実習科目の進め方とは違って、ゼミの担当教員と学生の「面談」が授業の主体となる。学生は、毎回担当教員に、卒業制作作品の進捗状況および今後の計画について報告し、それに対して教員は適宜必要なアドバイスを実施する。						
注意点	●学生は各回ごとに必要な資料をアナログまたはデジタルデータで準備すること。 ●調査、取材などの日程が授業と重複する場合には、実施前日までに担当教員の許可を得ること。 ●授業時限数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する				
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する				
	相談検証	20%	制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する				
	プレゼン	10%	制作物の発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	企画アイデア提案			3案以上の企画アイデアを提案し、取り組むべき「課題」を導き出すことができる			
2回	企画調査			「課題」に基づき、市場調査を行い、ターゲットの動向を把握する			
3回	企画の立案			市場調査に基づき、「課題」に必要な企画を立案する			
4回	企画書作成			立案した企画を、想定したターゲットやクライアントに向けた企画計画書としてまとめる			
5回	企画プレゼンテーション			企画計画書を、必要なビジュアル用いながら具体的に、わかりやすくプレゼンテーションする			
6回	β版制作作業①			「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する			
7回	β版制作作業②			「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する			
8回	中間プレゼンテーション			β版をプレゼンテーションし、教員等の指摘を受け止め、改善点を導き出すことができる			
9回	制作作業①			「課題」を表現するための最適なメディアを意識して作品を制作する			
10回	制作作業②			「課題」を表現するための最適なマテリアルを選択して作品を制作する			
11回	制作作業③			「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする			
12回	制作作業④			検証作業を経て、作品を修正し、納期までに作品を完成させる			
13回	最終プレゼンテーション(講評会)			「課題」と自身の計画を振り返った上で、自身の作品の最終プレゼンテーションを行う			
14回	展覧会準備			展覧会に合わせ、展示計画やツールを検証し、制作する			
15回	展覧会			自身の作品を展示し、他者に自身の「課題」解決提案としての作品を丁寧に説明できる			